

## プロイテレス衛星 1号機 インド宇宙研究機関(ISRO)

### サティシュ・ダワン宇宙センターにて最終打ち上げ準備 順調！

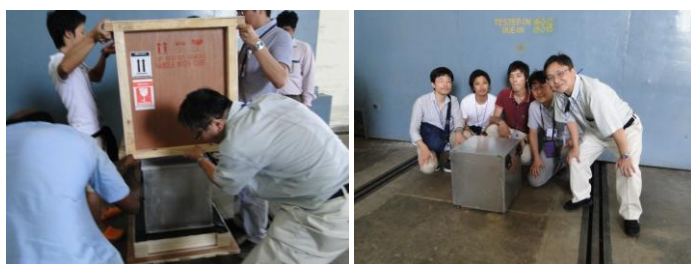
インド宇宙研究機関 (Indian Space Research Organization: ISRO) サティシュ・ダワン宇宙センター (Satish Dhawan Space Center SHAR: SDSC-SHAR、ロケット打ち上げセンター、チェンナイ市の北 100km) にて、プロイテレス衛星 1号機の打ち上げ準備が順調に進められています。

2012年7月23日、プロイテレス衛星は、チェンナイ国際空港到着後、通関業務を済ませ、陸路にてサティシュ・ダワン宇宙センターに無事運ばれました。

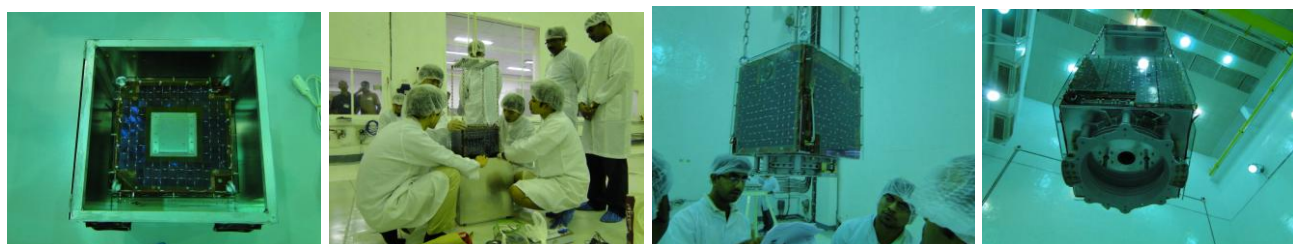
7月25-27日には、宇宙センター内のクリーンルーム SP-2A にて、池田知行君 (大学院機械工学専攻後期課程2年生)、井上陽一君 (大学院機械工学専攻前期課程2年生)、恵上直樹君 (大学院機械工学専攻前期課程1年生)、小林裕之先生 (ロボット工学科・准教授)、田原弘一先生 (機械工学科・教授) によって、通信テスト、電気機器動作チェック、磁気トルカ動作チェック、姿勢制御プログラムのチェック、キルスイッチの動作チェックなど、最終動作テストが行われました。すべて問題なく、大阪工業大学搬出直前の状態が維持されていることを確認しました。

なお、ロケットの打ち上げ予定日は、9月9日(日)になりました。主衛星である、フランス・アストリウム社 (Astrium, France) の地球観測衛星 SPOT-6 の準備が遅れたためです。

7月25日、池田君、井上君、恵上君、小林先生、田原先生、全員立ち会い、プロイテレス衛星1号機のコンテナを開封しました。(下記写真)



最後の金属コンテナを開封！大丈夫、プロイテレス衛星はがっちり固定されたままでした！まずは、衛星とインド側が用意した衛星分離装置、そのインターフェイスリングの機械的な噛み合わせのチェックを行いました。ISRO の多くの技術者との共同作業でした。問題なく合格！(下記写真)





7月26, 27日、インド側の技術者が見守る中、プロイテレス衛星1号機の最終動作チェックを行いました。我々が予定していた作業はすべて順調に進み終了しました。(下記写真)



次は、8月20-24日に、プロイテレス衛星1号機をPSLVロケットC21号機の衛星デッキに搭載する作業を行う予定です。